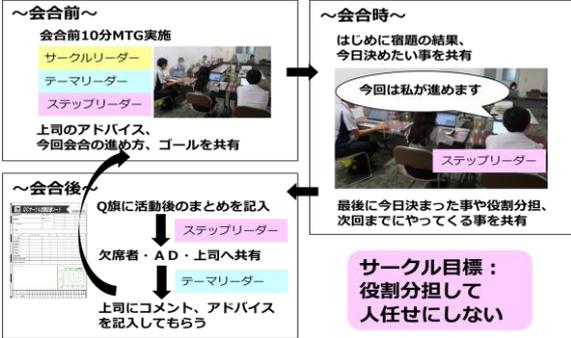


サークルの課題 弱み②サークル運営



そこで、サークル運営についてアドバイザーと相談し、**会合前は事前に進め方やゴールを共有する、会合はステップリーダーが責任を持って進める。会合後はステップリーダーがQ旗をまとめる等、全員に役割を分担することで運営レベルの向上を目指します。**

テーマ選定

| 評価点小計 | 活動期間 | やりがい | 全員参加 | サークルニーズ | 職場ニーズ | 重要度 | 緊急度 | 実現度 | 上位方針 | 6大任務 | 評価点小計 | 評価点総合 | 採用順位 |
|-------|------|------|------|---------|-------|-----|-----|-----|------|------|-------|-------|------|
| 11 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | C | 20 | 31 | 1 |
| 11 | ◎ | ◎ | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | C | 16 | 27 | 2 |
| 9 | ○ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | Q | 16 | 25 | 3 |
| 7 | ○ | ○ | △ | △ | △ | ◎ | △ | ◎ | ◎ | C | 10 | 17 | 5 |
| 11 | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | Q | 14 | 25 | 3 |

“輸入管理業務の管理時間低減”をテーマに選定

メンバー全員で困りごとをあげ、マトリクス図で評価を行った結果、最も評価点の高い「**輸入管理業務の管理時間低減**」をテーマとしました。

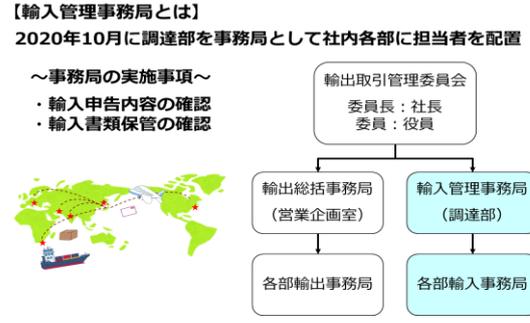
テーマ選定理由

- 輸入とは : 海外からモノを受け取ること
- 輸入品 : サンプル、材料、書類
- 適正な輸入 : 正しい品名・数量・金額で税関に申告すること
- 輸入件数 : 100件/月
- 輸入元 : 40%海外拠点 60%客先・仕入先他

税関は申告内容をもとに関税・輸入消費税等の徴収と輸入許可を行っています。申告が正しくないと脱税行為に繋がったり、罰金が科せられることもあります。

輸入とは海外からモノを受け取ること指し、キャラクターが海外から受け取る輸入品にはアプリ、材料、書類などがあります。輸入通関の際には、正しい品名・数量・金額で税関に申告する必要があり、**申告が正しくないと脱税行為とみなされ、罰金が科せられるなど、会社の信用問題にも発展します。**

テーマ選定理由



そのような違反行為が発生しないよう、'20年10月に**調達部を事務局として輸入管理事務局を設置**、各部にも担当者を配置しました。事務局では、**輸入申告が正しくされているか、輸入書類が正しく保管されているかを確認**しています。

テーマ選定理由

【緊急性】

- 昨年運用開始したばかりで管理に13hr/月かかっている
- 今後、海外取引が増加する事を見据え、早急に改善したい

【上位方針】

- 昨年輸入管理強化を目的に輸入管理事務局を設置しており輸入管理方法の定着と見直しが必要
- 部員の総労働時間短縮

輸入管理は運用を開始したばかりで、**社内の定着が不十分であり、調達部での管理工数が多かかっている**ことに加え、**上位方針でも輸入管理方法の定着と見直し、総労働時間短縮を掲げており、対応が必要**です。

テーマ選定理由

【重要性】

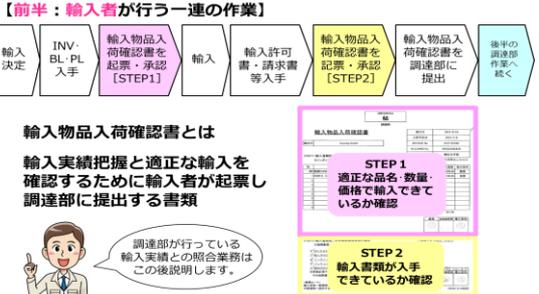
- 輸入管理は健全な輸入を行い、税関が輸入後に行う事後調査に対応する為の必須業務
- 事後調査は輸入書類が法律通り正しく管理されている必要があり、出来ていないと罰則を受ける場合もあり

【やりがい】

- 輸入後に輸入手続きが間違っていたことが発覚し、修正申告に多大な時間を掛けた事例あり
- 輸入管理の向上は正しい輸入に繋がります、修正申告も防げる
- QCで共有し部員のスキル向上、脱属人化で誰でも出来るように!

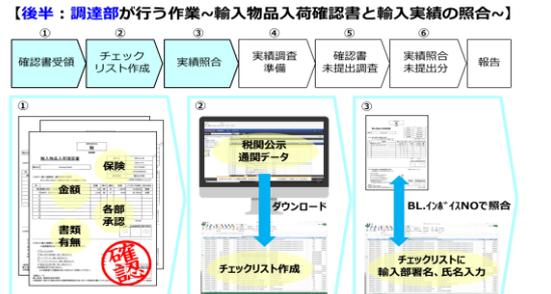
また、**税関の調査に対応するための必須業務で重要性が高く、属人化作業になっているため、QCで取り組む事で調達部員のスキル向上と多能工化を目指す**ことにしました。

現状把握



現在、社内では輸入者が起票する輸入物品入荷確認書を基に輸入実績の把握と適正な輸入ができています。確認書はSTEP1と2に分かれており、STEP1は、物品が海外から輸出された際に実施。輸出者から取り寄せた書類をみて確認書に必要情報を記入します。適正な品名・数量・価格で輸入していることを確認します。STEP2は、保管義務がある輸入書類を正しく入手できているかを確認します。

現状把握

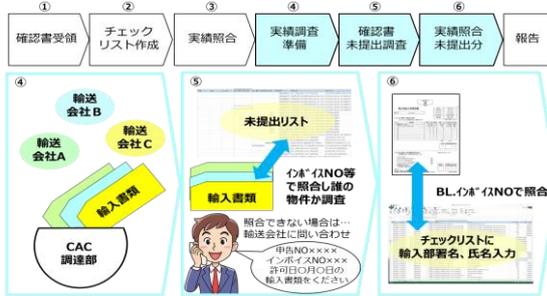


調達部では、各部から確認書を受領後、確認の作業を行います。

- 確認書を受領し内容に不備がないか、確認。
- 前月分の輸入データを税関のシステムからダウンロードし、チェックリストを作成。
- 確認書とチェックリストを照合します。

現状把握

【後半：調達部が行う作業～輸入物品入荷確認書と輸入実績の照合～】

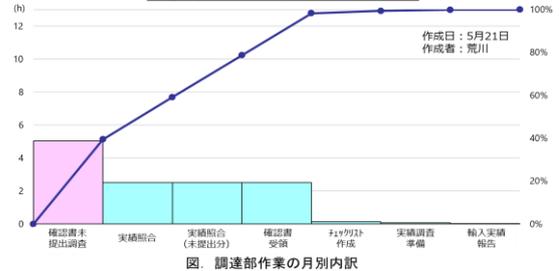


④輸送会社より輸入書類を入手し、実績調査を準備。⑤確認書が未提出であった案件を、輸入書類と照合して輸入者を特定。特定できない場合は輸送会社に問合せ、特定後に各部署の事務局に確認書の提出を依頼。⑥7-10後に提出された確認書をチェックリストと照合。このように毎月全輸入品の確認書を手当てして完了です。

14

現状把握

調達部作業の業務別時間のパレート図



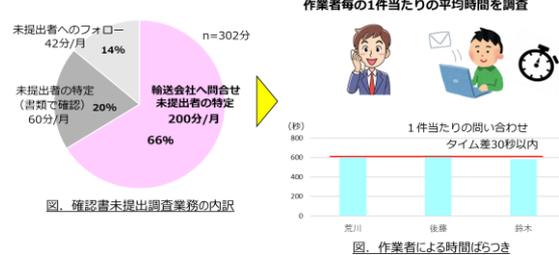
一番時間がかかっているのは確認書未提出調査

これらの作業をパレート図にしたところ、各作業の月平均の時間はこのようになり、**確認書の未提出調査に最も時間が掛かっている**ことがわかりました。

15

現状把握

確認書未提出調査業務の内訳を調査



輸送会社への問合せ作業は無駄な作業がなく、人による時間差はなし

次に、**確認書の未提出調査業務の内訳**を調べたところ、**輸送会社に問い合わせ、未提出者を特定する作業の割合が大きい**事がわかりました。そこで、**作業者による時間に違いがないか、担当者その他のメンバーで時間を計測をしたところ、差はありません**でした。

16

現状把握



月別未提出調査時間と未提出件数を調査



時間と件数は比例する！！
確認時間の発生原因は確認書未提出があるから

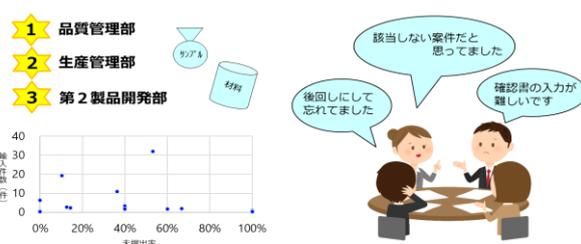
未提出件数に着目して再度現状把握を実施！

問い合わせ作業の深掘りをしましたが、**ムダな作業はなく、調達部の作業を改善出来ない**事が判明。そこでアドバイザーに相談。「**未提出の件数を減らすことで、皆の時間も減るのではないかと**」とのアドバイスをいただき、**未提出件数に着目**。月毎の未提出調査時間と件数を調べたところ、**件数と調査時間が比例している**事がわかりました。

17

現状把握

輸入件数が多い部署と確認書未提出率を調査



輸入件数と未提出率に相関性なし 未提出には様々な理由がありそう

更に、**輸入件数が多い部署と確認書の未提出率の関係**を調べたところ、**相関関係はありません**でした。そこで、**未提出の理由を、各部署に調査**してみました。

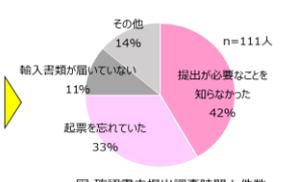
18

現状把握

輸入件数と確認書未提出件数



未提出111件に対して未提出理由を調査



確認書の提出が必要であることを知らなかった
後回しにし、起票を忘れていた
輸入書類が届いていない為、期限までに提出できない
このような理由で未提出になっている理由がわかった

3か月間で111件の未提出が発生していたため、**111名の未提出者を対象に、未提出の理由を確認**。すると、**提出が必要であることを知らなかった、提出を後回しにして起票を忘れていた**、という事がわかりました。

19

現状把握まとめ

| 層別項目 | 層別結果 |
|---------------------------------------|----------------------------------------|
| 確認書未提出調査業務の内訳 | 66%占める輸送会社への問合せ作業は手段に限られる上に必須作業で改善が難しい |
| 作業者による調査時間差 | 輸送会社への問合せ作業は手段が電話・メールのため人による時間差はなし |
| 調達部の未提出調査時間と未提出の件数は比例するため 未提出の発生原因に着目 | |
| 輸入件数が多い部署と確認書未提出率 | 輸入件数と未提出率に相関性なし |
| 未提出者へヒヤリング | ・確認書が入力しにくい ・提出を後回しにしている |
| 未提出理由の内訳調査 | ・確認書の提出が必要であることを知らない ・起票忘れの発生 |

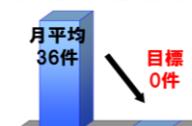
以上の現状把握から、**未提出の発生をなくすことで、調達部の時間も低減**できるということ。更に**未提出の原因は、提出の後回しや、提出が必要であることを知らない人がいて、起票忘れの発生に繋がっている**ということがわかりました。

20

目標設定

何を : 輸入物品入荷確認書の未提出件数を
いつまで : 2021年10月末までに
どうする : 現状36件/月から0件/月にする (5時間/月削減)
根拠 : 輸入管理業務の時間削減に繋がる
部方針の輸入管理定着と各部の正しい輸入に繋がる

輸入物品入荷確認書未提出件数



目標を「**輸入物品入荷確認書の未提出件数**」を「**2021年10月末までに「月36件から0件にする**」ことにしました。調達部でかかる**輸入管理業務の時間削減**に加え、**社内の輸入管理定着に繋がるため、会社全体に響き**があります。

21

